

地域の大学マーケットを考える

——地域における未開拓分野を探る

国の地方創生政策を背景に、大学と地域に関わる議論が活発になっている。国公私を問わず、地域活性の核として大学の役割を定義し、機能を強化すべしという内容だ。大学は研究の場であるだけでなく、若い世代を地元に残め置き、地域で必要とされる人材を育成し、就職というかたちで社会に還元するほか、地域経済の活発化、大学自体に関わる雇用創出等、様々な効果をもたらす存在である。一方で進学時と就職時には都市部への大きな人口移動が起こるのも、昔から変わらない。今、地域の大学が置かれた環境はどうなっているのか。データを基に考察したい。

カレッジマネジメント編集部 鹿島 梓



大学進学タイミングにおける人口流動

まず、現在の大学進学タイミングにおける人の流動について見ておきたい(図表1)。

2015年度学校基本調査によると、大学進学者における地元残留率の全国平均は43.6%であり、約2人に1人以上が進学のタイミングで他県に流出していることになる。特に残留率が低いのは、1位和歌山県(10.4%)、2位佐賀県(13.8%)、3位鳥根県(14.4%)、4位奈良県(14.7%)、5位鳥取県(14.9%)。人口が少ないことに加え、Ⅱで述べる学科の分布においても空白となっている割合が高いエリアである。逆に残留率が高いのは、1位愛知県(72.0%)、2位北海道(68.3%)、3位東京都(65.4%)、4位福岡県(63.7%)、5位宮城県(57.3%)と、大都会を擁し人口の多いエリアである。

残留率が全国平均値43.6%以上の都道府県は11、平均値以下の県は36であるが、中央値をとると28.7%となる。平均値付近に多く分布するわけではなく、地元に残まる残留県と、他県への流出県が二極化している様子が見てとれる。

続いて、残留率と大学進学率の関係性を見ておきたい。

図表2では、縦軸に地元残留率を、横軸に大学進学率をと

り、都道府県の分布を示した。地元残留率の全国平均43.6%と大学進学率(現役)の全国平均48.9%で線を引くと、4象限に分けることができる。

まず残留率も進学率も高い右上の象限Aに属するのは、東京・京都・兵庫・広島・愛知・大阪という6つの都市群である。人口が多く、大学も多く所在し、かつ大規模総合大学も多いため、地域に包括される学問領域が幅広く、卒業後の受け皿となる就職先企業も多く存在することもあり、特別な理由がなければ「出ていく理由がない」とも言えるゾーンだ。

残留率が低く進学率が高い右下の象限Bに属するのは、神奈川、奈良、埼玉、千葉、山梨、静岡という、都市部に隣接するエリアである。大学に進学する人が相対的に多いが、地元の大学よりも隣接都市の大学を選びやすい状況にあることがわかる。人口も多く都市圏として括られがちだが、流出傾向の強いエリアだ。

残留率が高く進学率が低い左上の象限Cに属するのは、福岡・宮城・熊本・北海道・沖縄である。地域の中核都市や観光都市が並ぶ。学校数が多く所在する一方、大学進学が多い都市部に比べると、地元産業とのつながりや経済面等

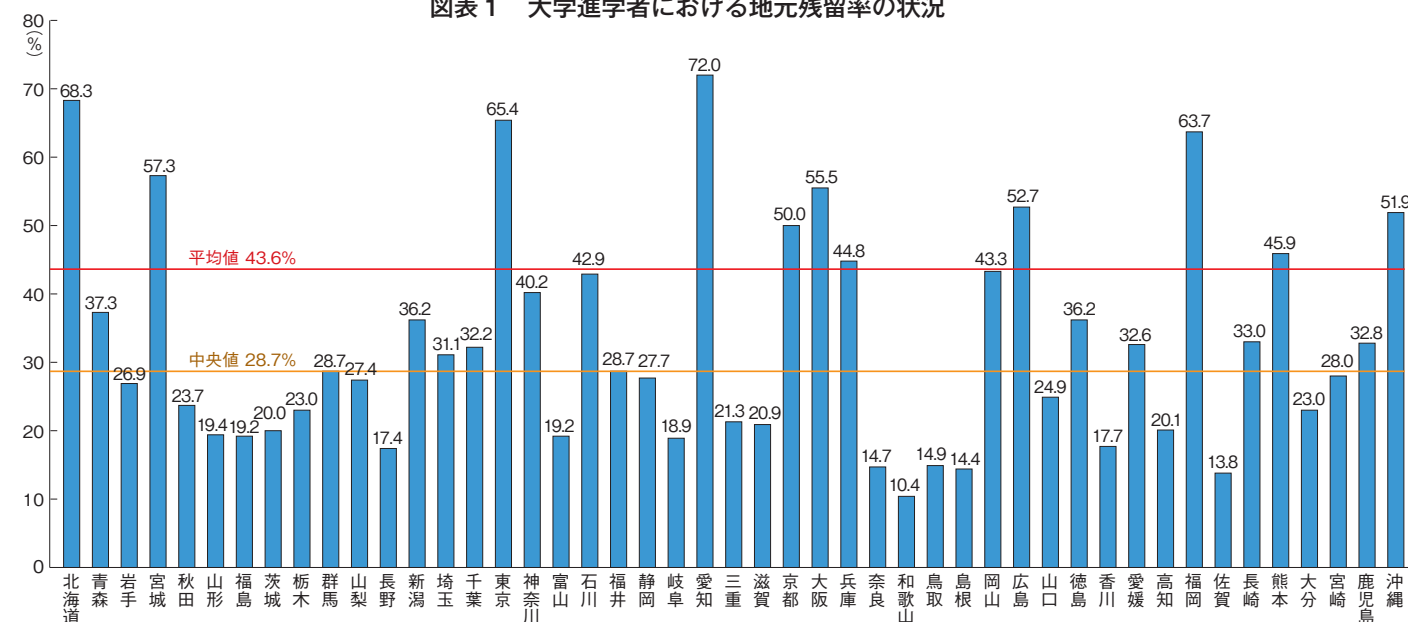
から進路が多様化し、資格等の専門職を目指す専門学校進学者も多いエリアだ。

その他の30県は残留率も進学率も低い左下の象限Dに属する。全都道府県の約64.0%がこの象限に分布することになる。大学進学率が低く、(結果)地元以外に流出していくという構造の原因は、経済的要因・地域的文化的要因・産業との関連性等、様々な要素が複合的に絡み合っているこ

とが想像されるが、今回はⅡにて、各地域に所在する学科系統の状況から、その分析を試みたい。なお、当然の大前提として、高校生の進路として、必ずしも大学に進学することだけが是ではないことは付け加えておく。

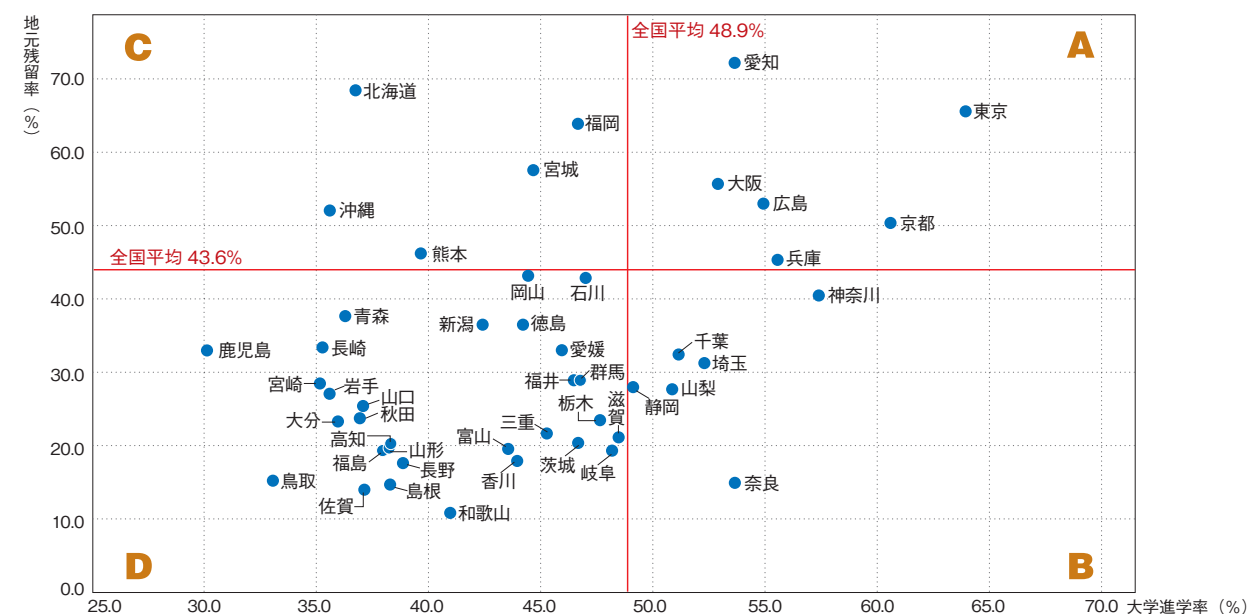
以上に見てきたように、残留率と進学率に明確な相関関係はないものの、象限に分けることで、それぞれの特徴を見ることができる。

図表1 大学進学者における地元残留率の状況



※2015年度学校基本調査より

図表2 地元残留率と大学進学率(現役)の関係性



※2015年度学校基本調査より



大学の学問系統の地域分布

では、全国779ある大学が、どのエリアでどのような学問領域の教育を展開しているかを見ておきたい。リクルート入試実態2015より、全国の大学が設置する学科の

地域ごとの設置数(2015年)を調べた。単一の学問分野で学科を構成するものを「単独分野」と称し、単独分野の設置数は学科の設置数と同義とした。一方、複数の学問

図表3 「単独分野」と「構成分野」の設置数(全国)

大分類		小分類	単独分野	構成分野	
1	文化・地理・歴史	1	地理学	8	17
		2	歴史学	46	65
		3	考古学	3	10
		4	文化人類学	33	117
		5	日本文化学	22	72
		6	言語学	7	37
		7	教養学	25	38
		合計	144	356	
2	芸術・文学・表現	8	音楽	50	65
		9	美術	59	105
		10	デザイン	55	179
		11	舞台・演劇学	1	11
		12	日本文学	36	63
		13	外国文学	80	101
		14	児童文学	0	1
15	文芸学	22	28		
		合計	303	553	
3	数学・物理学・化学	16	数学	34	88
		17	物理学	43	100
		18	化学	34	79
		合計	111	267	
4	法律・政治・経済	19	法学	100	150
		20	政治・政策学	25	48
		21	総合政策学	63	89
		22	経済学	163	255
		23	経営学	197	343
24	商学	68	90		
		合計	616	975	
5	家政・生活	25	栄養・食物学	81	150
		26	服飾・被服学	5	21
		27	住居学	1	22
		28	生活科学	11	57
		合計	98	250	
6	生物	29	生物学	53	145
		30	生命科学	53	153
		31	農学	25	82
		32	森林科学・水産学	10	37
		33	獣医・畜産学	24	35
		合計	165	452	
7	社会・マスコミ	34	社会学	93	212
		35	観光学	21	51
		36	情報学	10	192
		37	図書館情報学	2	3
		38	コミュニケーション学	14	106
		39	マスコミ学	7	19
		40	メディア学	4	83
		合計	151	666	

大分類		小分類		単独分野	構成分野
8	人間・心理・教育・福祉	41	哲学・宗教学	36	45
		42	心理学	86	169
		43	人間科学	54	158
		44	教育学	156	269
		45	保育・児童学	77	161
		46	福祉学	109	185
			合計	518	987
9	地球・環境・エネルギー	47	地球・宇宙学	21	46
		48	環境科学	23	141
		49	エネルギー・資源工学	4	49
		50	原子力工学	3	3
			合計	51	239
10	国際・語学	51	国際関係学	45	106
		52	国際文化学	44	110
		53	語学（外国語）	70	131
		54	語学（日本語）	5	39
			合計	164	386
11	スポーツ・健康・医療	55	スポーツ学	29	108
		56	健康科学	15	121
		57	医学（専門課程）	78	87
		58	歯学（専門課程）	30	30
		59	薬学	102	105
		60	看護学	215	224
		61	保健衛生学	29	52
		62	リハビリテーション学	140	155
		63	医療技術学	90	100
			合計	728	982
12	工学・建築・技術	64	機械工学	89	197
		65	航空・船舶・自動車工学	5	30
		66	システム・制御工学	8	171
		67	情報工学	47	228
		68	通信工学	17	47
		69	電気工学	9	119
		70	電子工学	6	147
		71	画像・音響工学	11	28
		72	建築学	76	139
		73	土木工学	9	33
		74	環境工学	16	131
		75	応用物理学	18	37
		76	応用化学	58	109
		77	材料工学	20	44
		78	経営工学	15	36
			合計	404	1496
			総計	3466	7609
0	複合分野			1694	—
99	分類不能(系統区分できない学科)			13	13
			総合計	5160	7622

分野で学科を構成するものを「複合分野」と称し、その学科を構成する分野全てを設置数としてカウントし直し(「構成分野」単位)、実質的に学べる学科が都道府県別にどのくらいあるのかを明らかにするための集計分析を行った(例:経済経営学科では経済学と経営学を「構成分野」とし、それぞれ学べるものとして各1カウント)。また、分野の分類に際してはリクルートで使用している系統分類を採用した(図表3)。

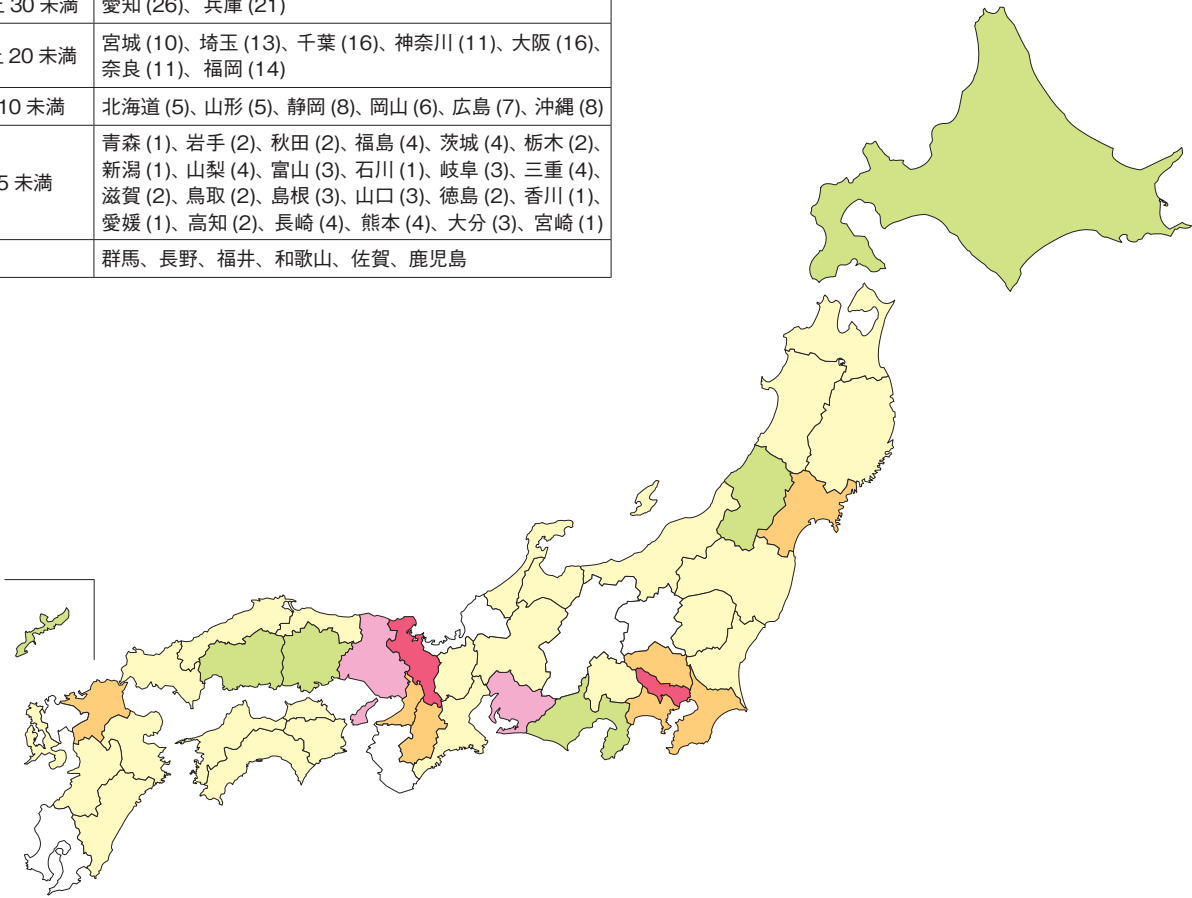
全国の学科設置数は5160件、うち単独分野は3466件、

複合分野は1694件である。大分類(分野系統)で設置数が多いのは、スポーツ・健康・医療分野(728件)、法律・政治・経済(616件)、人間・心理・教育・福祉(518件)。学科単位で最も多いのは看護学(215件)、経営学(197件)、経済学(163件)となった。

構成分野単位で見ると、全国の設置数は7622件となった。大分類で設置数が多いのは、工学・建築・技術(1496件)、人間・心理・教育・福祉(987件)、スポーツ・健康・医療(982件)。単独分野のみでカウントした集計に比べ、構

図表4 文化・地理・歴史分野の分布状況(都道府県別:構成分野単位:2015年)

全国設置数	356 件
内 訳	
小分類 (学科系統)	地理学 (17)、歴史学 (65)、考古学 (10)、文化人類学 (117)、日本文化学 (72)、言語学 (37)、教養学 (38)
設置数	
30 以上	東京 (82)、京都 (38)
20 以上 30 未満	愛知 (26)、兵庫 (21)
10 以上 20 未満	宮城 (10)、埼玉 (13)、千葉 (16)、神奈川 (11)、大阪 (16)、奈良 (11)、福岡 (14)
5 以上 10 未満	北海道 (5)、山形 (5)、静岡 (8)、岡山 (6)、広島 (7)、沖縄 (8)
1 以上 5 未満	青森 (1)、岩手 (2)、秋田 (2)、福島 (4)、茨城 (4)、栃木 (2)、新潟 (1)、山梨 (4)、富山 (3)、石川 (1)、岐阜 (3)、三重 (4)、滋賀 (2)、鳥取 (2)、島根 (3)、山口 (3)、徳島 (2)、香川 (1)、愛媛 (1)、高知 (2)、長崎 (4)、熊本 (4)、大分 (3)、宮崎 (1)
0	群馬、長野、福井、和歌山、佐賀、鹿児島



成分野単位の集計が2462件も増加するのは、既存の専門領域に追加しやすい学問が複成分野において多く集計されたためであり、分野系統設置数の上位は、経営学(343件)、教育学(269件)、経済学(255件)となった。一方で、医療系国家資格取得に向けたカリキュラムが単独で整備されているもの等は、学際分野としての要素分解がほぼ不可能であり、単独分野での集計に比べると相対的に少なくなっている。

以下に大分類ごとの状況を整理していくが、全体を通

した大前提として、2点考慮しなければならない点がある。まず、人口との関係に触れておきたい。人口50万人以上の政令指定都市は2015年全国で20市存在する(横浜市・相模原市・名古屋市・札幌市・福岡市・神戸市・川崎市・京都市・さいたま市・広島市・仙台市・千葉市・新潟市・浜松市・岡山市・静岡市・大阪市・堺市・北九州市・熊本市)。2016年4月現在で推計人口2700万人を有し、総人口1億2698万人の約5人に1人はこれらの大都市に居住していることになる。当然大学の設置数も多い。

次に、大学における学科設置理由に少し触れておきたい。学部学科が設置されるにあたっては、立地する地域の産業や文化に根差したもの、建学時のルーツや理念に係るもの、業界やエリアのトレンドとして設置されるもの等、背景も目的も多様である。本来であれば、単純に数だけの話では見えてこない、これらの設置背景を踏まえる必要がある。ただし、公式な記録がない限り根拠を持って推し量ることは難しいため、今回の分析では要素としては加えない前提とした。

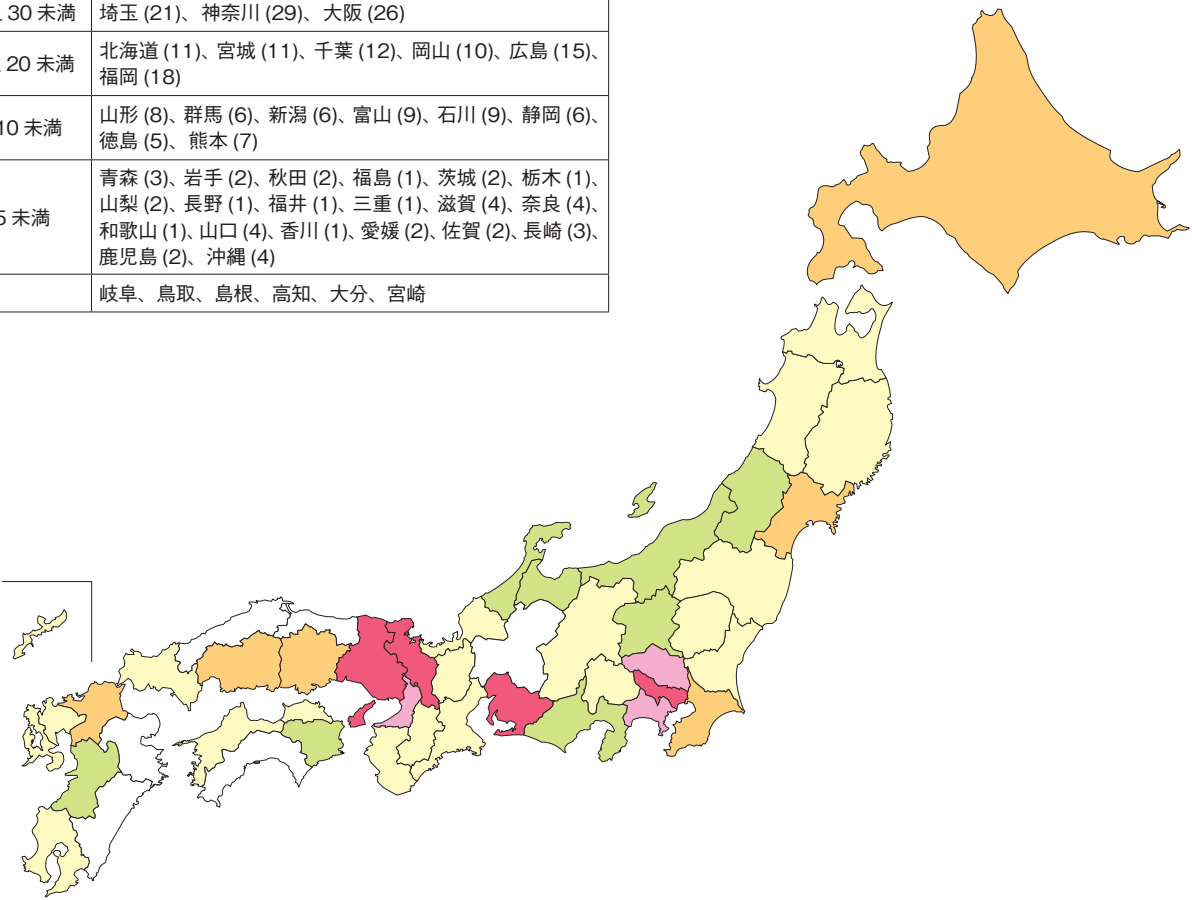
以上を踏まえ、大分類12分類ごとの傾向について、順に見ていこう。

文化・地理・歴史分野 (図表4)

小分類は、地理学、歴史学、考古学、文化人類学、日本文化学、言語学、教養学の7種類。最も設置が多いのは文化人類学で117件である。全国設置数356件の中で、30件以上設置されているのは東京、京都。特に東京都は82件と最も多い。京都は古くから宗教や文化の中心地でも

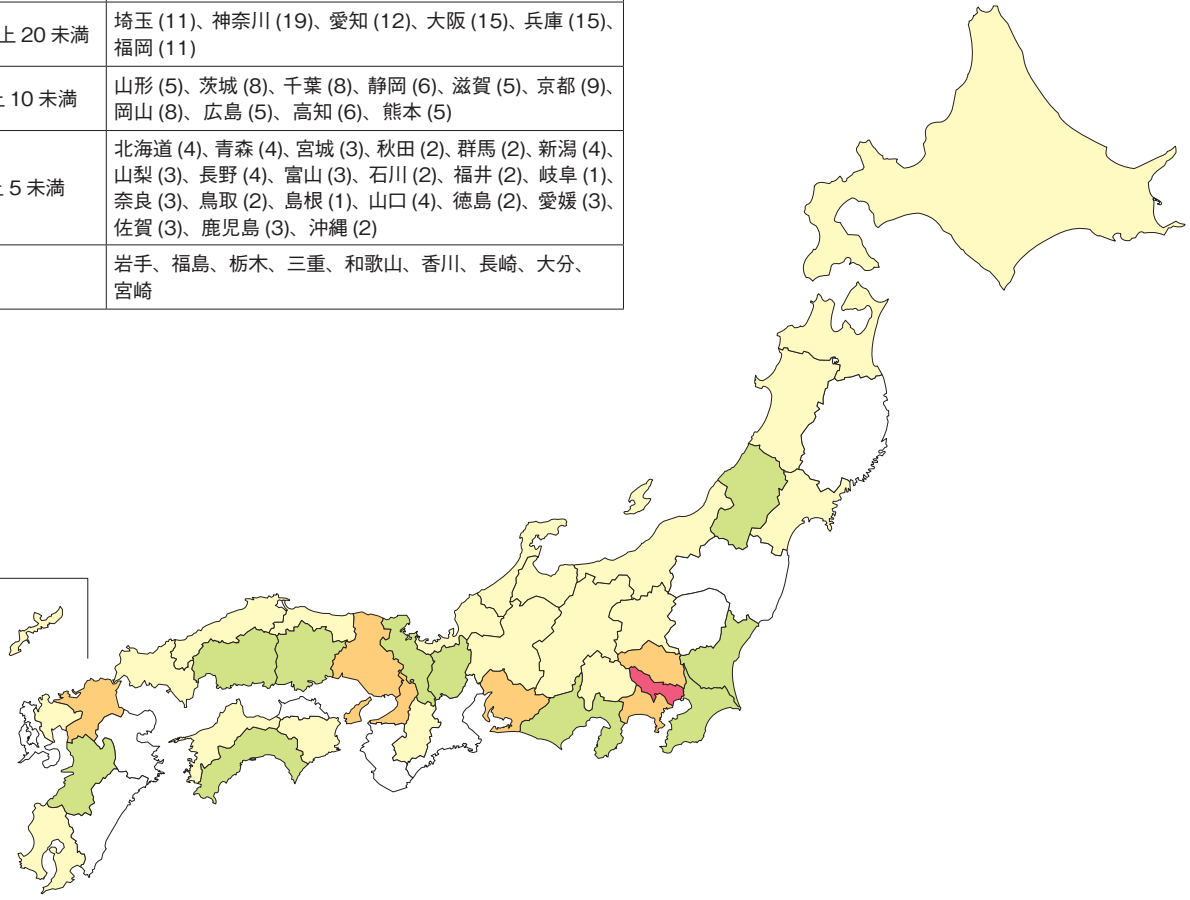
図表5 芸術・文学・表現分野の分布状況 (都道府県別:構成分野単位:2015年)

全国設置数		553 件
内 訳		
小分類 (学科系統)	音楽 (65)、美術 (105)、デザイン (179)、舞台・演劇学 (11)、 日本文学 (63)、外国文学 (101)、児童文学 (1)、文芸学 (28)	
設置数		
	30 以上	東京 (171)、愛知 (37)、京都 (61)、兵庫 (32)
	20 以上 30 未満	埼玉 (21)、神奈川 (29)、大阪 (26)
	10 以上 20 未満	北海道 (11)、宮城 (11)、千葉 (12)、岡山 (10)、広島 (15)、 福岡 (18)
	5 以上 10 未満	山形 (8)、群馬 (6)、新潟 (6)、富山 (9)、石川 (9)、静岡 (6)、 徳島 (5)、熊本 (7)
	1 以上 5 未満	青森 (3)、岩手 (2)、秋田 (2)、福島 (1)、茨城 (2)、栃木 (1)、 山梨 (2)、長野 (1)、福井 (1)、三重 (1)、滋賀 (4)、奈良 (4)、 和歌山 (1)、山口 (4)、香川 (1)、愛媛 (2)、佐賀 (2)、長崎 (3)、 鹿児島 (2)、沖縄 (4)
	0	岐阜、鳥取、島根、高知、大分、宮崎



図表6 数学・物理学・化学分野の分布状況 (都道府県別:構成分野単位:2015年)

全国設置数		267 件
内 訳		
小分類 (学科系統)	数学 (88)、物理学 (100)、化学 (79)	
設置数		
30 以上	東京 (62)	
20 以上 30 未満	なし	
10 以上 20 未満	埼玉 (11)、神奈川 (19)、愛知 (12)、大阪 (15)、兵庫 (15)、福岡 (11)	
5 以上 10 未満	山形 (5)、茨城 (8)、千葉 (8)、静岡 (6)、滋賀 (5)、京都 (9)、岡山 (8)、広島 (5)、高知 (6)、熊本 (5)	
1 以上 5 未満	北海道 (4)、青森 (4)、宮城 (3)、秋田 (2)、群馬 (2)、新潟 (4)、山梨 (3)、長野 (4)、富山 (3)、石川 (2)、福井 (2)、岐阜 (1)、奈良 (3)、鳥取 (2)、島根 (1)、山口 (4)、徳島 (2)、愛媛 (3)、佐賀 (3)、鹿児島 (3)、沖縄 (2)	
0	岩手、福島、栃木、三重、和歌山、香川、長崎、大分、宮崎	



あり、それらを研究する学問が多く分布しているとも言える。また、10件以上に範囲を広げると、愛知、兵庫、宮城、埼玉、千葉、神奈川、大阪、奈良、福岡となり、いずれも都市圏である。

一方で設置数0は、群馬、長野、福井、和歌山、佐賀、鹿児島 の6県。鹿児島を除き、都市圏と言われる地域に県境が接している県ばかりである。交通網の発達に伴い、都市部への移動時間が短縮されたことで、都市部設置の大学へと人の流れが強くなったことも影響していそうである。

■芸術・文学・表現分野（図表5）

小分類は、音楽、美術、デザイン、舞台・演劇学、日本文学、外国文学、児童文学、文芸学の8種類。最も設置が多いのはデザインで179件である。全国設置数553件の中で、30件以上設置されているのは東京、愛知、京都、兵庫。この4都府県に全体の54.4%の301件が分布している。設置数0は、岐阜、鳥取、島根、高知、大分、宮崎と、西日本にやや偏っている。

■数学・物理学・化学分野（図表6）

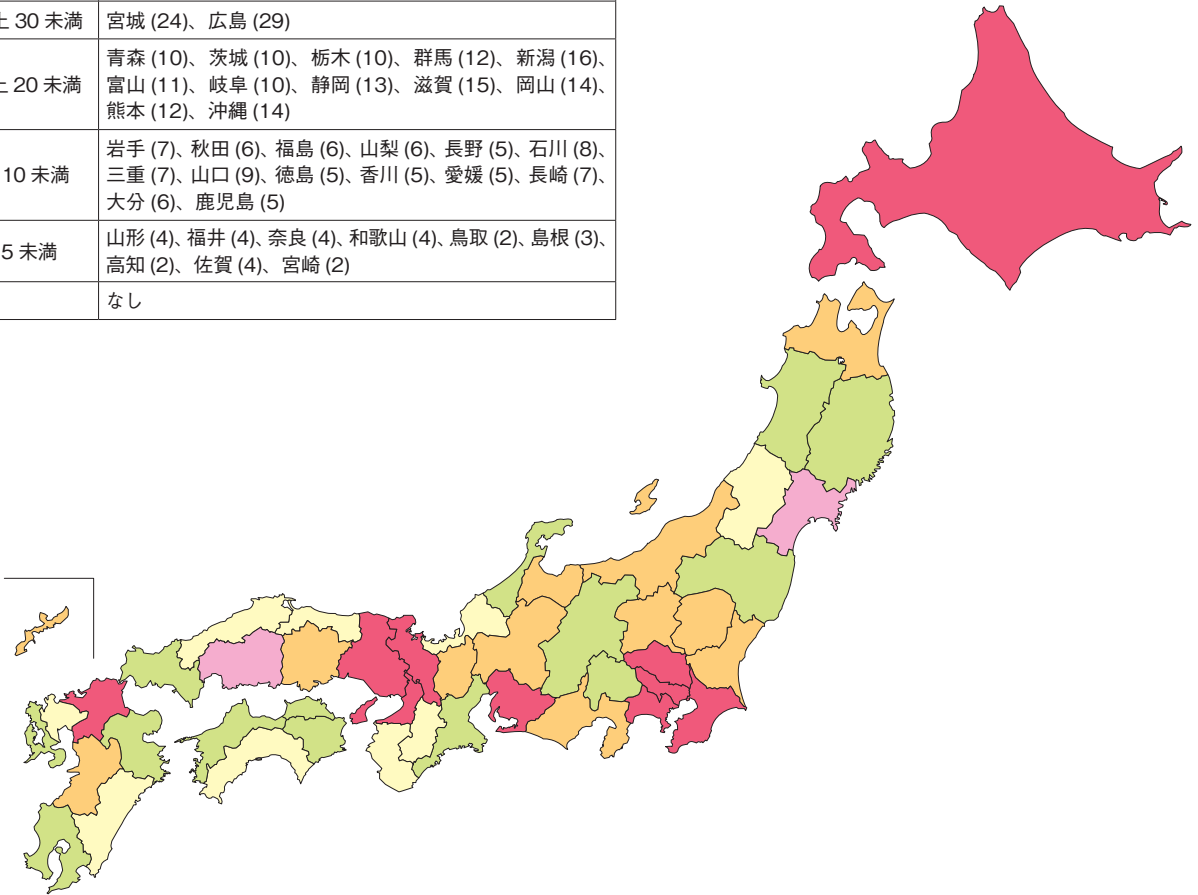
小分類は、数学、物理学、化学の3種類。最も多いのは物理学で100件だが、3分野の設置数にそこまで大きな差はない。全国設置数267件のうち設置数30以上は東京の62件のみ。続いて神奈川県19件、大阪・兵庫各15件と続く。東京に一極集中しつつ、都市部を中心に分布する系統と言えそうだ。設置数5未満が30道県と、全体の64%を占めた。

■法律・政治・経済分野（図表7）

全国で975件と設置数の多い分野である。小分類は、法学、政治・政策学、総合政策学、経済学、経営学、商学の6種類。最も設置が多いのは経営学で343件である。経営学は近年新增設改組が多く、単体で成立するのはもちろん、複合的に他の学問と組み合わせられることも多い学問であるため、この集計方法では設置数を大きく伸ばしたと思われる。設置数30以上は、北海道、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛

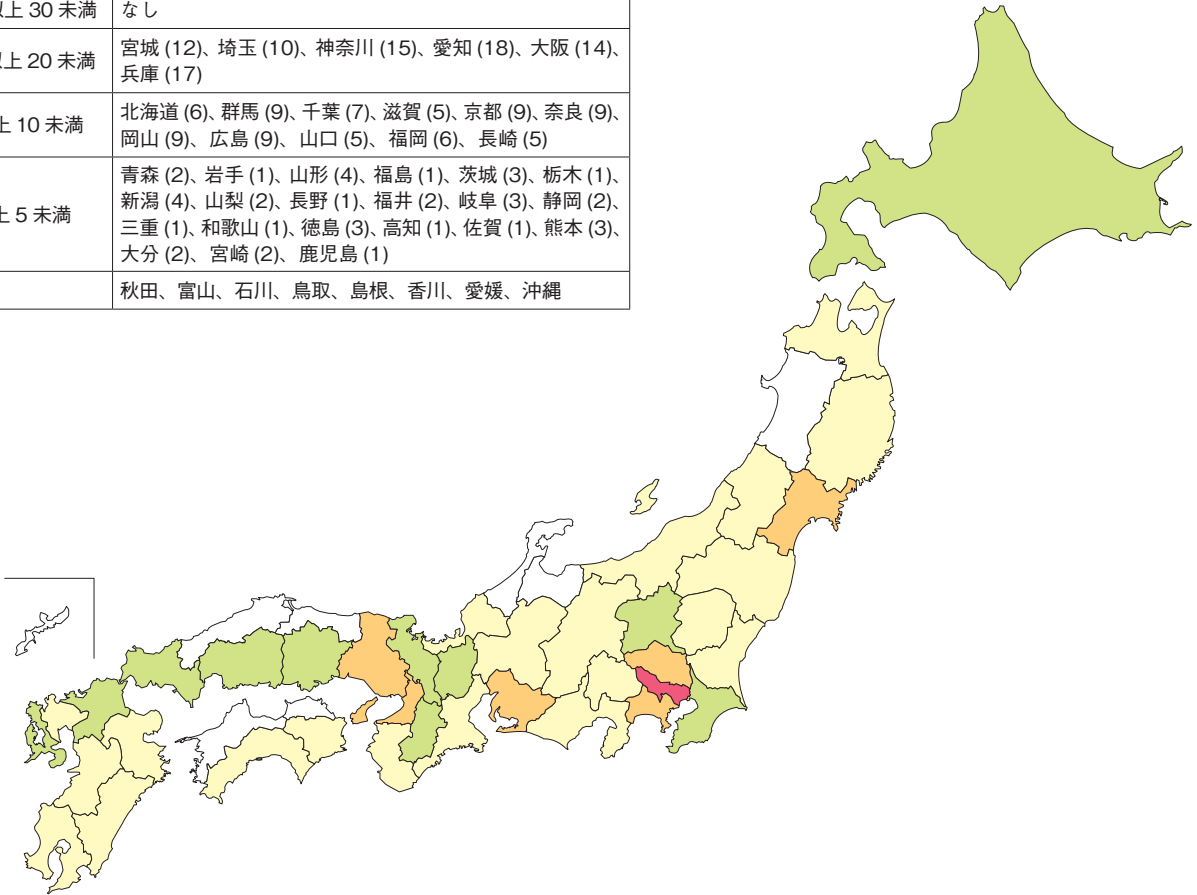
図表7 法律・政治・経済分野の分布状況（都道府県別：構成分野単位：2015年）

全国設置数	975 件
内 訳	
小分類（学科系統）	法学 (150)、政治・政策学 (48)、総合政策学 (89)、経済学 (255)、経営学 (343)、商学 (90)
設置数	
30 以上	北海道 (46)、埼玉 (32)、千葉 (37)、東京 (222)、神奈川 (40)、愛知 (65)、京都 (40)、大阪 (87)、兵庫 (42)、福岡 (48)
20 以上 30 未満	宮城 (24)、広島 (29)
10 以上 20 未満	青森 (10)、茨城 (10)、栃木 (10)、群馬 (12)、新潟 (16)、富山 (11)、岐阜 (10)、静岡 (13)、滋賀 (15)、岡山 (14)、熊本 (12)、沖縄 (14)
5 以上 10 未満	岩手 (7)、秋田 (6)、福島 (6)、山梨 (6)、長野 (5)、石川 (8)、三重 (7)、山口 (9)、徳島 (5)、香川 (5)、愛媛 (5)、長崎 (7)、大分 (6)、鹿児島 (5)
1 以上 5 未満	山形 (4)、福井 (4)、奈良 (4)、和歌山 (4)、鳥取 (2)、島根 (3)、高知 (2)、佐賀 (4)、宮崎 (2)
0	なし



図表8 家政・生活分野の分布状況（都道府県別：構成分野単位：2015年）

全国設置数	250 件
内 訳	
小分類（学科系統）	栄養・食物理学 (150)、服飾・被服学 (21)、住居学 (22)、生活科学 (57)
設置数	
30 以上	東京 (44)
20 以上 30 未満	なし
10 以上 20 未満	宮城 (12)、埼玉 (10)、神奈川 (15)、愛知 (18)、大阪 (14)、兵庫 (17)
5 以上 10 未満	北海道 (6)、群馬 (9)、千葉 (7)、滋賀 (5)、京都 (9)、奈良 (9)、岡山 (9)、広島 (9)、山口 (5)、福岡 (6)、長崎 (5)
1 以上 5 未満	青森 (2)、岩手 (1)、山形 (4)、福島 (1)、茨城 (3)、栃木 (1)、新潟 (4)、山梨 (2)、長野 (1)、福井 (2)、岐阜 (3)、静岡 (2)、三重 (1)、和歌山 (1)、徳島 (3)、高知 (1)、佐賀 (1)、熊本 (3)、大分 (2)、宮崎 (2)、鹿児島 (1)
0	秋田、富山、石川、鳥取、島根、香川、愛媛、沖縄



知、京都、大阪、兵庫、福岡の10都道府県。宮城、広島がそれに続く。逆に設置が5件未満と少ないのは、山形、福井、奈良、和歌山、鳥取、島根、高知、佐賀、宮崎。山形を除き、西日本で都市部に隣接したエリアが並ぶ。隣接する都市部設置の大学へ流れている可能性もありそうだ。なお、設置数0の都道府県は存在しなかった。

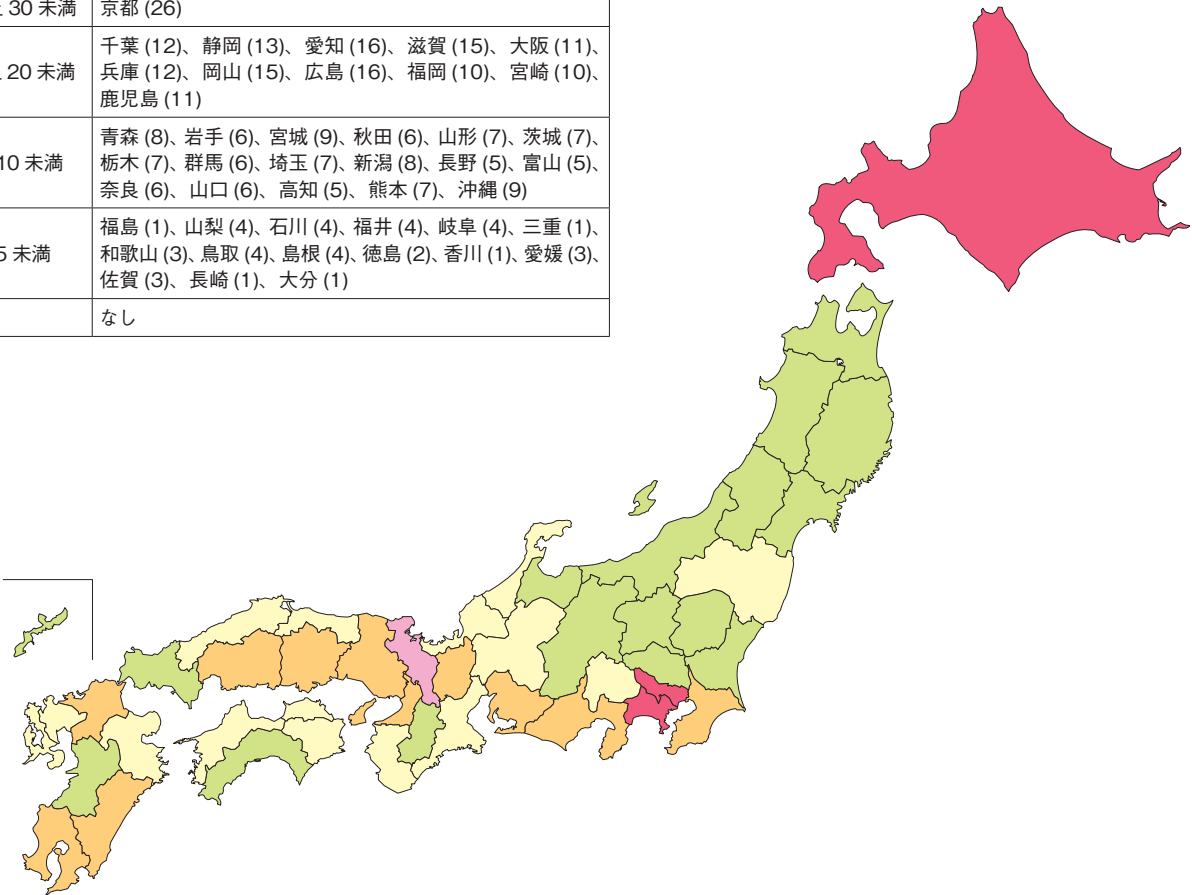
■ 家政・生活分野（図表8）

小分類は、栄養・食物学、服飾・被服学、住居学、生活科

学の4種類。最も設置が多いのは栄養・食物学で150件である。全国設置数250件のうち、東京が44件と多いが、他分野と比較して、東京と他の道府県との差が少ないのが特徴と言える。10件以上設置があるのは、ほかに宮城、埼玉、神奈川、愛知、大阪、兵庫。学問上の性格として、基本的に女子大学を中心に設置されている傾向が強い。設置数0は、秋田、富山、石川、鳥取、島根、香川、愛媛、沖縄の8県で、他県や他学校種に流出しているものと考えられる。

図表9 生物分野の分布状況（都道府県別：構成分野単位：2015年）

全国設置数	452 件
内 訳	
小分類（学科系統）	生物学 (145)、生命科学 (153)、農学 (82)、森林科学・水産学 (37)、獣医・畜産学 (35)
設置数	
30 以上	北海道 (32)、東京 (62)、神奈川 (37)
20 以上 30 未満	京都 (26)
10 以上 20 未満	千葉 (12)、静岡 (13)、愛知 (16)、滋賀 (15)、大阪 (11)、兵庫 (12)、岡山 (15)、広島 (16)、福岡 (10)、宮崎 (10)、鹿児島 (11)
5 以上 10 未満	青森 (8)、岩手 (6)、宮城 (9)、秋田 (6)、山形 (7)、茨城 (7)、栃木 (7)、群馬 (6)、埼玉 (7)、新潟 (8)、長野 (5)、富山 (5)、奈良 (6)、山口 (6)、高知 (5)、熊本 (7)、沖縄 (9)
1 以上 5 未満	福島 (1)、山梨 (4)、石川 (4)、福井 (4)、岐阜 (4)、三重 (1)、和歌山 (3)、鳥取 (4)、島根 (4)、徳島 (2)、香川 (1)、愛媛 (3)、佐賀 (3)、長崎 (1)、大分 (1)
0	なし



■ 生物分野（図表9）

小分類は、生物学、生命科学、農学、森林科学・水産学、獣医・畜産学の5種類。生物学と生命科学が150件前後と多い。全国設置数452件のうち、設置数30件以上は、北海道、東京、神奈川で、特に自然面積が広い北海道は、立地条件にも合う分類系統であると言えよう。

地図で見ると、東日本は概ね5件以上存在していることが分かる（地図上の緑色）。また、東京から東海道に

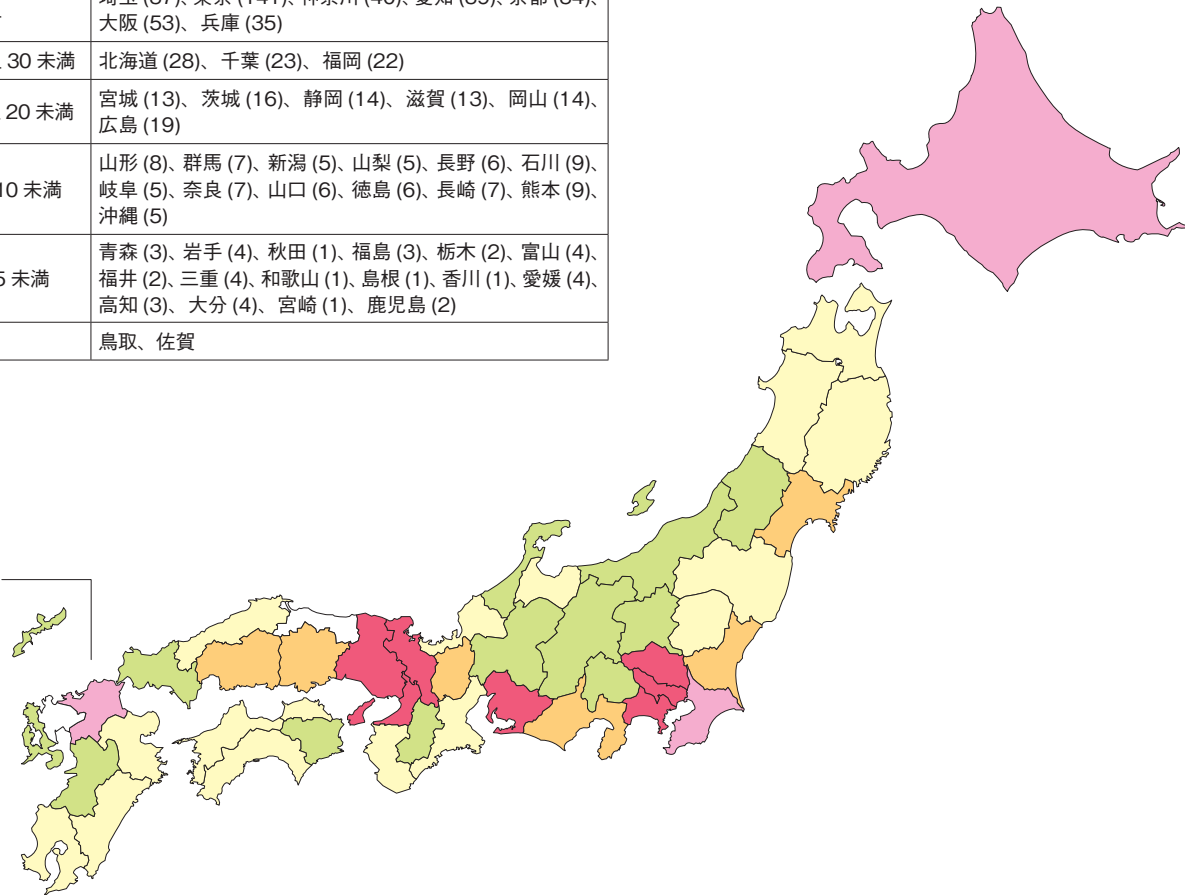
沿って京都、そこを経てさらに広島までが1つの帯状分布となっている。九州では宮崎、鹿児島が福岡とほぼ同数であり、他分野の福岡一強の状態とは様子が異なっている。

■ 社会・マスコミ分野（図表10）

小分類は、社会学、観光学、情報学、図書館情報学、コミュニケーション学、マスコミ学、メディア学の7種類。最も設置が多いのは社会学で212件である。全国設置数

図表10 社会・マスコミ分野の分布状況（都道府県別：構成分野単位：2015年）

全国設置数	666 件
内 訳	
小分類（学科系統）	社会学 (212)、観光学 (51)、情報学 (192)、図書館情報学 (3)、コミュニケーション学 (106)、マスコミ学 (19)、メディア学 (83)
設置数	
30 以上	埼玉 (37)、東京 (141)、神奈川 (40)、愛知 (39)、京都 (34)、大阪 (53)、兵庫 (35)
20 以上 30 未満	北海道 (28)、千葉 (23)、福岡 (22)
10 以上 20 未満	宮城 (13)、茨城 (16)、静岡 (14)、滋賀 (13)、岡山 (14)、広島 (19)
5 以上 10 未満	山形 (8)、群馬 (7)、新潟 (5)、山梨 (5)、長野 (6)、石川 (9)、岐阜 (5)、奈良 (7)、山口 (6)、徳島 (6)、長崎 (7)、熊本 (9)、沖縄 (5)
1 以上 5 未満	青森 (3)、岩手 (4)、秋田 (1)、福島 (3)、栃木 (2)、富山 (4)、福井 (2)、三重 (4)、和歌山 (1)、島根 (1)、香川 (1)、愛媛 (4)、高知 (3)、大分 (4)、宮崎 (1)、鹿児島 (2)
0	鳥取、佐賀



666件のうち、設置数30件以上は、埼玉、東京、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫。学問として扱う対象が「社会」や「情報」というだけに、都市圏に分布が集中する。ただし、「観光」については「観光立国」を掲げる国策にも関連し、インバウンドの観光需要を取り込むことは地域活性化に必須の要件となりつつあり、地域に軸足を置く大学にとっても喫緊の課題であるため、地域を問わず分布する傾向にある。一方で設置数0は鳥取と佐賀となったが、2県ともそれぞれ兵庫と福岡に隣接することから、立地的

に流出が大きいことも要因と言えそうである。

■人間・心理・教育・福祉分野（図表11）

全国設置数987件。特に教育分野は国立大学を中心に設置されていたという歴史的経緯もあり、全都道府県に存在する分野である。小分類は、哲学・宗教学、心理学、人間科学、教育学、保育・児童学、福祉学の6種類。最も設置が多いのは教育学で269件である。設置数30件以上は、北海道、宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、京都、大阪、

兵庫、広島、福岡の12都道府県。それに続くのは群馬、静岡、岡山と、他の分野では設置数上位に出てこない県が並ぶ。逆に設置数が5件未満と少ないのは、秋田、鳥取、島根、高知、大分の5県となった。

■地球・環境・エネルギー分野（図表12）

小分類は、地球・宇宙学、環境科学、エネルギー・資源工学、原子力工学の4種類。最も設置が多いのは環境科学で141件である。全国設置数239件のうち、設置数が最

も多いのは東京の33件。設置数10件以上は、千葉、神奈川、愛知、兵庫、福岡であった。都市部に集中しているほかは全体的に分布状況が似通っており、特徴を見いだしにくい分野である。設置数0は福島、徳島、香川の3県であった。

■国際・語学分野（図表13）

小分類は、国際関係学、国際文化学、語学(外国語)、語学(日本語)の4種類。最も設置が多いのは語学(外国語)

図表 11 人間・心理・教育・福祉分野の分布状況（都道府県別・構成分野単位：2015年）



図表 12 地球・環境・エネルギー分野の分布状況（都道府県別・構成分野単位：2015年）



で131件である。

近年「グローバル」「国際」という言葉が大学政策・改革等の文脈で頻出するようになり、それを冠する学部学科も増えた。しかし、学科単位で国際的な内容であることが明示されているもので集計すると、全国設置数は386件程度、設置は東京、愛知、大阪の三大都市圏に集中しており、その他の地域は一部を除き、設置数は多くないのが実態だ。設置数0は、長野、福井、和歌山、島根、愛媛の5県となった。

■スポーツ・健康・医療分野（図表14）

高齢化で注目されがちな分野だが、小分類は、スポーツ学、健康科学、医学（専門課程）、歯学（専門課程）、薬学、看護学、保健衛生学、リハビリテーション学、医療技術学の9種類と、かなり幅広い領域である。また、図表3で先述したように、特に国家資格取得を目指す医療系の場合、それぞれのカリキュラムの専門性が高いため、学際的に融合することは少なく、単独分野と構成分野の集計

に大きな差がないのも特徴と言える。同時に、どの学校のカリキュラムも資格取得に根差し一定レベルの同一条件となるため、学校間の教育面での差別化が難しい分野でもある。また、実際は大学だけではなく、短大・専門学校でもこの分野を有し募集力の高い学校が多く、ここで見ている以上に実際の競合関係は多彩かつ熾烈な競争となっていると思われる。この中で最も設置が多いのは看護学で224件。近年相次いでいる看護系の学科改組の増加とはほぼ比例して増えていると考えられる。設

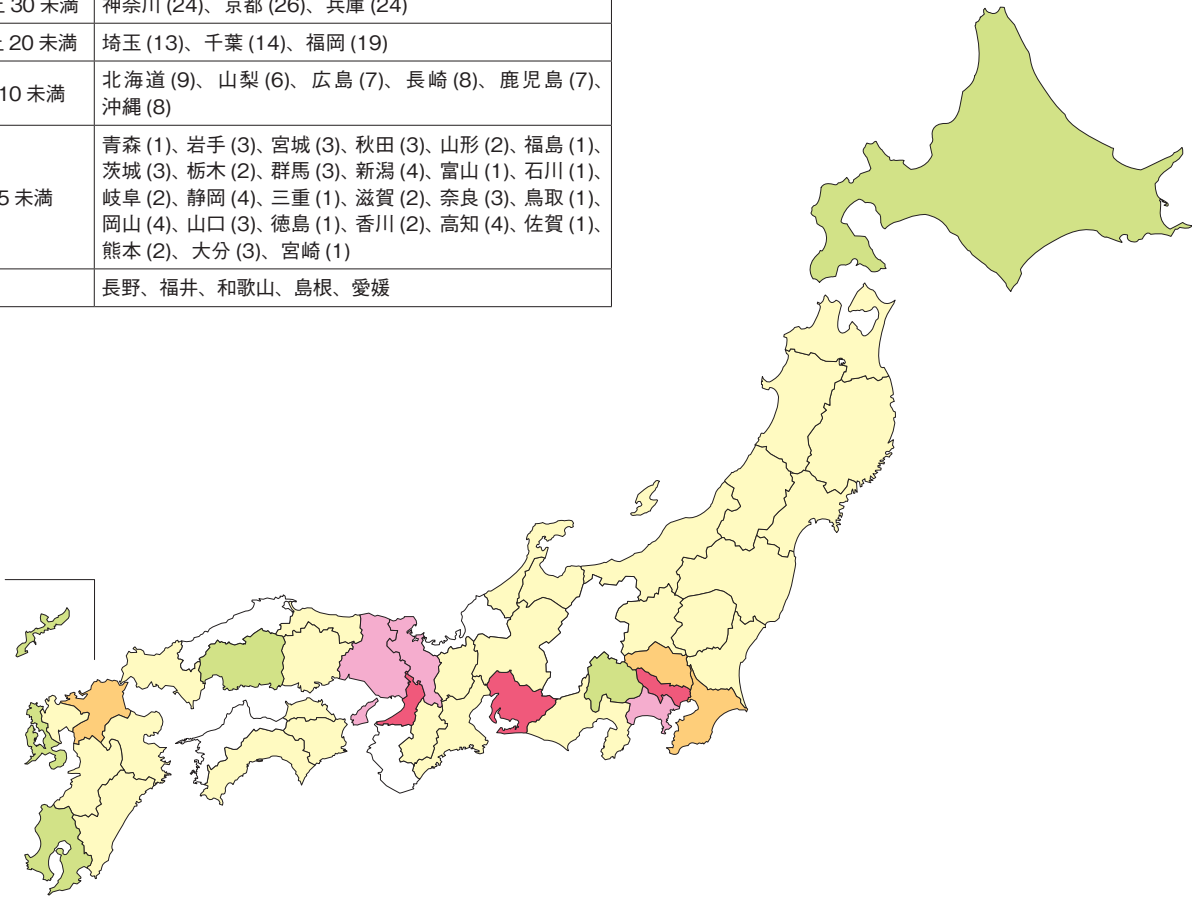
置数0の都道府県は存在しなかった。

■工学・建築・技術分野（図表15）

全国に1496件所在し、今回集計の大分類では最も多い。小分類は、機械工学、航空・船舶・自動車工学、システム・制御学、情報工学、通信工学、電気工学、電子工学、画像・音響工学、建築学、土木工学、環境工学、応用物理学、応用化学、材料工学、経営工学の15種類。かつては限られた大学にしか設置が許されなかった工学部も、いまや

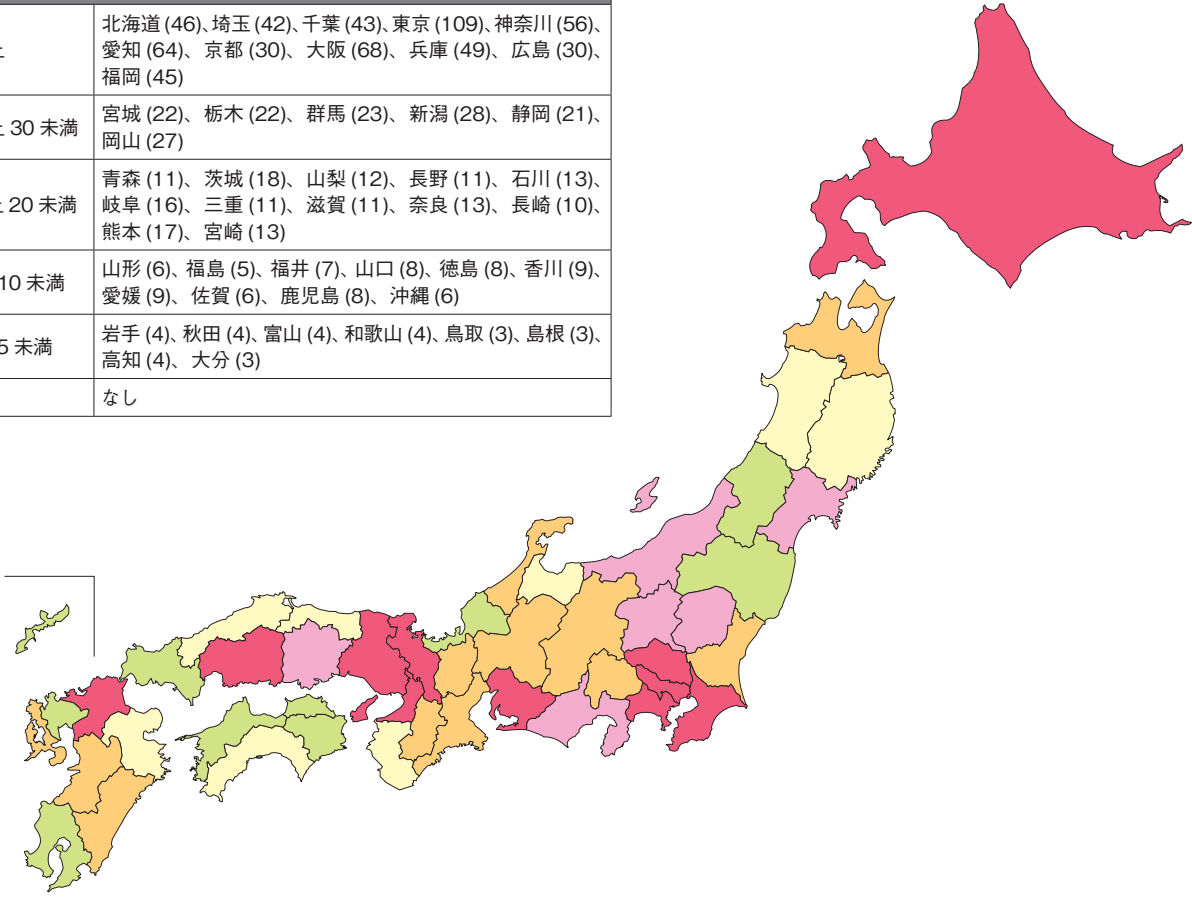
図表 13 国際・語学分野の分布状況（都道府県別：構成分野単位：2015年）

全国設置数		386 件
内 訳		
小分類 (学科系統)	国際関係学 (106)、国際文化学 (110)、 語学 (外国語) (131)、語学 (日本語) (39)	
設置数		
	30 以上	東京 (87)、愛知 (41)、大阪 (32)
	20 以上 30 未満	神奈川 (24)、京都 (26)、兵庫 (24)
	10 以上 20 未満	埼玉 (13)、千葉 (14)、福岡 (19)
	5 以上 10 未満	北海道 (9)、山梨 (6)、広島 (7)、長崎 (8)、鹿児島 (7)、 沖縄 (8)
	1 以上 5 未満	青森 (1)、岩手 (3)、宮城 (3)、秋田 (3)、山形 (2)、福島 (1)、 茨城 (3)、栃木 (2)、群馬 (3)、新潟 (4)、富山 (1)、石川 (1)、 岐阜 (2)、静岡 (4)、三重 (1)、滋賀 (2)、奈良 (3)、鳥取 (1)、 岡山 (4)、山口 (3)、徳島 (1)、香川 (2)、高知 (4)、佐賀 (1)、 熊本 (2)、大分 (3)、宮崎 (1)
	0	長野、福井、和歌山、島根、愛媛



図表 14 スポーツ・健康・医療分野の分布状況（都道府県別：構成分野単位：2015年）

全国設置数		982 件
内 訳		
小分類（学科系統）	スポーツ学 (108)、健康科学 (121)、医学 (専門課程)(87)、歯学 (専門課程)(30)、薬学 (105)、看護学 (224)、保健衛生学 (52)、リハビリテーション学 (155)、医療技術学 (100)	
設置数		
	30 以上	北海道 (46)、埼玉 (42)、千葉 (43)、東京 (109)、神奈川 (56)、愛知 (64)、京都 (30)、大阪 (68)、兵庫 (49)、広島 (30)、福岡 (45)
	20 以上 30 未満	宮城 (22)、栃木 (22)、群馬 (23)、新潟 (28)、静岡 (21)、岡山 (27)
	10 以上 20 未満	青森 (11)、茨城 (18)、山梨 (12)、長野 (11)、石川 (13)、岐阜 (16)、三重 (11)、滋賀 (11)、奈良 (13)、長崎 (10)、熊本 (17)、宮崎 (13)
	5 以上 10 未満	山形 (6)、福島 (5)、福井 (7)、山口 (8)、徳島 (8)、香川 (9)、愛媛 (9)、佐賀 (6)、鹿児島 (8)、沖縄 (6)
	1 以上 5 未満	岩手 (4)、秋田 (4)、富山 (4)、和歌山 (4)、鳥取 (3)、島根 (3)、高知 (4)、大分 (3)
	0	なし



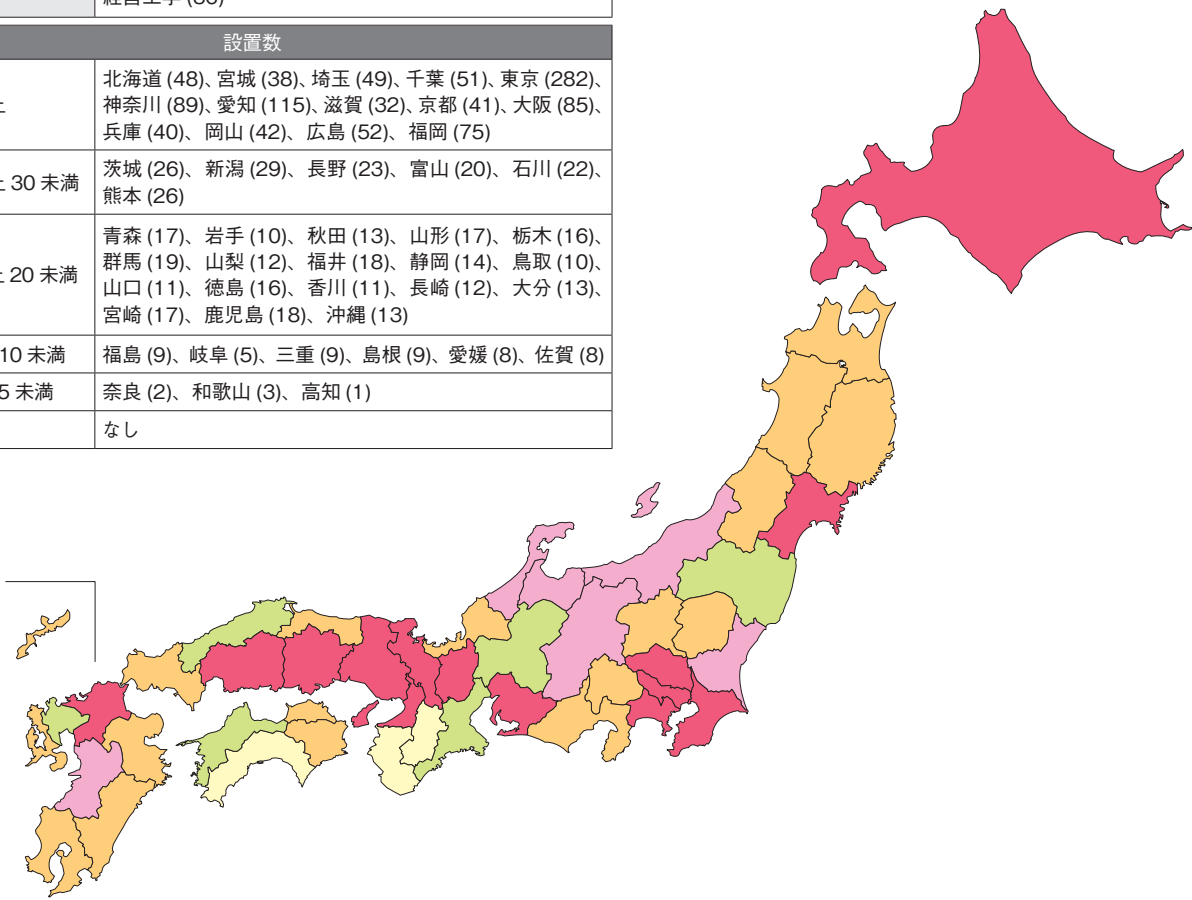
細分化が進み、多岐に渡って教育研究が展開されている。最も設置が多いのは情報工学で228件である。地図上で見ると、大都市圏と北海道のほか、滋賀県から広島県にかけて、阪神工業地帯～瀬戸内工業地域にかかる一帯で、学科分布が多いことが分かる。設置数30件以上の都道府県は14存在する一方、設置数0件の都道府県は存在しない。

以上見てきたように、分野ごとでも置かれた状況が異

なることが分かる。本来、地域により根差した産業や文化も異なり、それぞれ適した学部学科の分布は違うはずだが、現状としてまず都市部への人の流れは歯止めがかからず、そうした地域ごとの特徴がややかすんでしまっているのが全体傾向と言える。また、現状存在しない学部学科をただ作れば人が集まるという簡単な問題ではないものの、第1章で見た人口の流動には、こうした学部学科が地元が存在するかどうかの状況の影響が大きいことは、想像に難しくなく、留意しておきたいポイントである。

図表 15 工学・建築・技術分野の分布状況（都道府県別：構成分野単位：2015年）

全国設置数		1496 件
内 訳		
小分類（学科系統）		機械工学 (197)、航空・船舶・自動車工学 (30)、システム・制御学 (171)、情報工学 (228)、通信工学 (47)、電気工学 (119)、電子工学 (147)、画像・音響工学 (28)、建築学 (139)、土木工学 (33)、環境工学 (131)、応用物理学 (37)、応用化学 (109)、材料工学 (44)、経営工学 (36)
設置数		
	30 以上	北海道 (48)、宮城 (38)、埼玉 (49)、千葉 (51)、東京 (282)、神奈川 (89)、愛知 (115)、滋賀 (32)、京都 (41)、大阪 (85)、兵庫 (40)、岡山 (42)、広島 (52)、福岡 (75)
	20 以上 30 未満	茨城 (26)、新潟 (29)、長野 (23)、富山 (20)、石川 (22)、熊本 (26)
	10 以上 20 未満	青森 (17)、岩手 (10)、秋田 (13)、山形 (17)、栃木 (16)、群馬 (19)、山梨 (12)、福井 (18)、静岡 (14)、鳥取 (10)、山口 (11)、徳島 (16)、香川 (11)、長崎 (12)、大分 (13)、宮崎 (17)、鹿児島 (18)、沖縄 (13)
	5 以上 10 未満	福島 (9)、岐阜 (5)、三重 (9)、島根 (9)、愛媛 (8)、佐賀 (8)
	1 以上 5 未満	奈良 (2)、和歌山 (3)、高知 (1)
	0	なし



政策の動向と今後の兆し

次に、国の政策等で既に動き出している兆しを捉えておきたい。

昨今の地方創生機運の高まりは、周知の通り、地域再生の核となる大学の形成を目的として2013年に始まった、「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」が起点である。背景には、大学の教育研究が社会の課題解決に十分応えていない実情と、個人間や研究室単位では地域連携が存在するものの、全学で組織的に取り組む事業が極めて少ないことがあった。よってCOC事業では、地域連携を軸に、教育改革と一体化した全学的な取り組みを行う事業を重点支援するとして、2013年に23億円、2014年に34億円の予算が計上された。2014年に日本創成会議で発表されたいわゆる「増田レポート」で、2040年に896もの市区町村が消滅可能性都市と指摘されたことで、地域経済の先行きに

についての不安・危機感がさらに高まり、続く2015年の統一地方選挙に向け、政府は重点政策課題として「地方創生」を打ち出した。同年には、従来のCOCを改善強化する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」が発表された。総務省と文部科学省の連携事業で、自治体や地元中小企業が連携して学生を地元定着させるべく、自治体に対しては特別交付税措置を、大学の取り組みに対しては補助事業に採択することで助成を行うもので、2015年に新規で44億円の予算が計上された。なお、大都市圏と言われる地域は対象地域から除外されている。

COC+に採択されたのは42件のプロジェクト、参加大学数は194と、非常に多い。これらのプロジェクトが各地域で実態をもって根付けば、地域創生の大きなうねりとなる可能性もある。以下が選定状況である。

図表 16 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)事業選定状況

設置形態	大学等名称	事業名称	参加大学	参加自治体	参加企業等
国立	室蘭工業大学	「ものづくり・人材」が拓く「まち・ひと・しごとづくり」	北見工業大学、北海道科学大学、千歳科学技術大学、苫小牧工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校	北海道、北海道室蘭市、北見市、札幌市、千歳市、苫小牧市、旭川市、釧路市	北海道経済同友会、北海道経済連合会、北洋銀行、北海道銀行、日本政策投資銀行北海道支店 他
国立	弘前大学	オール青森で取り組む「地域創生人財」育成・定着事業	青森県立保健大学、東北女子大学、八戸工業大学、弘前学院大学、八戸学院大学、青森中央学院大学、弘前医療福祉大学、青森中央短期大学、八戸工業高等専門学校	青森県、青森県青森市、弘前市、八戸市、むつ市	青森朝日放送、青森銀行、青森県銀行協会、青森県信用組合、青森テレビ 他
国立	岩手大学	ふるさとといわて創造プロジェクト	岩手県立大学、富士大学、盛岡大学、岩手県立大学盛岡短期大学部、岩手県立大学宮古短期大学部、一関工業高等専門学校	岩手県、岩手県盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、越前高田市、釜石市、八幡平市、奥州市、滝沢市、矢巾町、金ケ崎町、岩泉町	岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会、岩手経済同友会、岩手県中小企業団体中央会、岩手県中小企業家同友会 他
国立	秋田大学	超高齢・人口減少社会における若者の地元定着の促進と若者の育成	秋田県立大学、秋田工業高等専門学校	秋田県	秋田商工会議所、秋田県商工会連合会、秋田県中小企業団体中央会、秋田県ふるさと定住機構、秋田銀行 他
私立	東北学院大学	みやぎ・せんだい協働教育基盤による地域高度人材の育成	宮城教育大学、東北工業大学、石巻専修大学、尚絅学院大学、仙台大学、仙台白百合女子大学、東北生活文化大学、宮城学院女子大学、聖和学園短期大学、東北生活文化大学短期大学部、仙台高等専門学校	宮城県、宮城県仙台市、	七十七銀行、仙台銀行、ETIC、ワカツク、知識創発研究所
国立	山形大学	協働・循環型「やまがた創生」人材育成事業	山形県立米沢栄養大学、東北公益文科大学、東北文教大学、東北文教大学短期大学部、鶴岡工業高等専門学校	山形県、山形県山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、上山市、長井市、西川町、真室川町、飯豊町、三川町、庄内町、遊佐町、戸沢村	山形県商工会議所連合会、山形県商工会連合会、山形県工業会、山形県銀行協会、山形県信用金庫協会 他
国立	福島大学	ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成の展開	東日本国際大学、桜の聖母短期大学、福島工業高等専門学校	福島県	福島県商工会連合会、福島商工会議所、郡山商工会議所、会津若松商工会議所、いわき商工会議所 他

設置形態	大学等名称	事業名称	参加大学	参加自治体	参加企業等
国立	茨城大学	茨城と向き合い茨城に根ざし、未来を育む地域協創人材養成事業	茨城県立医療大学、茨城キリスト教大学、常磐大学、茨城工業高等専門学校	茨城県	茨城産業会議、雇用人材協会
国立	宇都宮大学	輝くとちぎをリードする人材育成地元定着推進事業	東京農工大学、帝京大学、芝浦工業大学、人間総合科学大学、小山工業高等専門学校	栃木県	栃木県経済同友会、栃木県経営者協会、栃木県産業振興センター、栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会他
私立	共愛学園前橋国際大学	持続的・地方創生・共同体形成プログラム：若者定着県域総ぐるみ計画	高崎商科大学、上武大学、明治学院大学	群馬県、群馬県前橋市、高崎市、伊勢崎市、富岡市	群馬県商工会議所連合会、群馬県中小企業同友会、前橋商工会議所、群馬銀行、しのめ信用金庫 他
国立	千葉大学	都市と世界をつなぐ千葉地方圏の“しごと”づくり人材育成事業	敬愛大学	千葉県、千葉県いすみ市、勝浦市、横芝光町	日本政策金融公庫、千葉銀行、京葉銀行、サイボウズ、千葉日報社 他
国立	新潟大学	「ひと・まち・しごと」創生を循環させるNIIGATA人材の育成と定着	新潟県立大学、敬和学園大学、事業創造大学院大学、新潟国際情報大学、新潟青陵大学、新潟青陵大学短期大学部	新潟県、新潟県新潟市	亀田製菓、コロナ、第四銀行、新潟日报社、ブルボン 他
国立	富山大学	富山全域の連携が生み出す地方創生 ―未来の地域リーダー育成―	富山県立大学、富山国際大学、富山短期大学、富山福祉短期大学、富山高等専門学校	富山県、富山県富山市、高岡市、魚津市、黒部市、滑川市、射水市、氷見市、小矢部市、砺波市、南砺市、朝日町、入善町、上市町、立山町、舟橋村	富山県商工会議所連合会、YKK、インテック、北陸銀行、富山銀行 他
国立	金沢大学	金沢・加賀・能登で地域思考型教育による夢と志を持つ人材養成	石川県立大学、石川県立看護大学、金沢工業大学、金沢学院大学、金沢星稜大学、金城大学、北陸大学	石川県、石川県金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、白山市、能美市、野々市市、穴水町、能登町	北陸銀行、北國銀行、小松製作所（コマツ栗津工場）、PFU、大学コンソーシアム石川 他
国立	福井大学	地域創生の担い手を育み活気あるふくいを創造する5大学連携事業	福井県立大学、敦賀市立看護大学、福井工業大学、仁愛大学	福井県	福井県商工会議所連合会、福井県経営者協会、福井経済同友会、福井県医師会、福井県看護協会 他
国立	山梨大学	オールやまなし11+1大学と地域の協働による未来創生の推進	山梨県立大学、横浜市立大学、山梨学院大学、身延山大学、山梨英和大学、大月短期大学、山梨学院短期大学、帝京学園短期大学	山梨県、山梨県甲府市、山梨市、大月市、南アルプス市、北杜市、笛吹市、甲州市、中央市、身延町	山梨県商工会議所連合会、山梨県中小企業団体中央会、山梨県商工会連合会、山梨県経営者協会、やまなし産業支援機構 他
国立	信州大学	地域ニーズで就業力と地域定着志向と成長力を高めるキャリア教育	長野大学、松本大学	長野県	長野県経営者協会、長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、長野県中小企業団体中央会、長野県中小企業家同友会
国立	岐阜大学	岐阜でステップ×岐阜にプラス地域志向産業リーダーの協働育成	中部学院大学、中部大学、日本福祉大学	岐阜県	岐阜県経営者協会、十六銀行、大垣共立銀行、マイナビ
国立	静岡大学	静岡発“ふじのくに”創生プラン	浜松医科大学、電気通信大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、東海大学、愛知学院大学、沼津工業高等専門学校	静岡県、静岡県静岡市、浜松市、富士市、三島市、沼津市、富士宮市、御殿場市、伊豆市、裾野市、長泉町、清水町、函南町、小山町	静岡新聞社、静岡放送、静岡銀行、清水銀行、静岡信用金庫 他
国立	三重大学	地域イノベーションを推進する三重創生ファンタジスタの養成	三重県立看護大学、四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大学、鈴鹿医療科学大学、四日市看護医療大学、鈴鹿大学短期大学部、三重短期大学、高田短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校	三重県	アーリーバード、ICDAホールディングス、伊藤工機、医用工学研究所、オズ海島遊民くらぶ 他
国立	京都工芸繊維大学	北京都を中心とする国公私・高専連携による京都創生人材育成事業	京都府立大学、京都学園大学、舞鶴工業高等専門学校	京都府	京都工業会、丹後機械工業協同組合、福知山商工会議所、舞鶴商工会議所、綾部商工会議所 他
公立	滋賀県立大学	びわ湖ナレッジ・コモンズ＋～地と知で拓く滋賀の創生～	滋賀大学、成安造形大学、聖泉大学、びわこ成蹊スポーツ大学、びわこ学院大学	滋賀県	滋賀県商工会議所連合会、滋賀県商工会連合会、滋賀県中小企業団体中央会、滋賀経済同友会、滋賀経済産業協会 他
国立	神戸大学	地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム	兵庫県立大学、神戸市看護大学	兵庫県、兵庫県神戸市	神戸商工会議所、兵庫県経営者協会、兵庫工業会、神戸新聞社

設置形態	大学等名称	事業名称	参加大学	参加自治体	参加企業等
国立	奈良女子大学	共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト	奈良工業高等専門学校	奈良県、奈良県下市町、十津川村、野迫川村	奈良経済同友会、奈良テレビ放送、南都銀行、奈良交通、奈良県農業協同組合他
国立	和歌山大学	わかやまの未来を切り拓く若者を育む“紀の国大学”の構築	大阪府立大学、大阪市立大学、摂南大学、和歌山信愛女子短期大学、和歌山工業高等専門学校	和歌山県	和歌山県経営者協会、和歌山県中小企業団体中央会、紀陽銀行
公立	岡山県立大学	地域で学び地域で未来を拓く‘生き活きおかやま’人材育成事業	岡山大学、岡山理科大学、ノートルダム清心女子大学、就実大学、山陽学園大学、倉敷芸術科学大学、くらしき作陽大学、吉備国際大学	岡山県、岡山県倉敷市、笠岡市、総社市、備前市、真庭市、高梁市	岡山県経済団体連絡協議会、岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会 他
公立	広島市立大学	観光振興による「海の国際文化生活圏」創生に向けた人材育成事業	広島大学、尾道市立大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、安田女子大学	広島県広島市、呉市、竹原市、三原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、尾道市、安芸太田町、北広島町、府中町、海田町、熊野町、坂町、山口県岩国市、柳井市	中国経済連合会、広島商工会議所、広島経済同友会、広島県経営者協会、オタフクソース 他
国立	鳥取大学	学生と社会の相互交流による人材育成・地元定着促進プログラム	公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校	鳥取県、鳥取県鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、八頭町、若桜町、智頭町、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町、日吉津村	鳥取県産業振興機構、鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、鳥取銀行 他
国立	島根大学	地域未来創造人材の育成を加速するオールしまね協働事業	島根県立大学、島根県立大学短期大学部、松江工業高等専門学校	島根県	協同組合島根県鐵工会、島根経済同友会、島根県商工会連合会、島根県商工会議所連合会、島根県中小企業家同友会 他
国立	山口大学	やまぐち未来創生人材育成・定着促進事業	山口県立大学、徳山大学、山口学芸大学、宇部フロンティア大学、山口東京理科大学、東亜大学、至誠館大学、山口芸術短期大学、宇部工業高等専門学校、徳山工業高等専門学校、大島商船高等専門学校	山口県、山口県下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町、阿武町	アデリー、宇部興産、西京銀行、サマンサジャパン、大晃機械工業 他
国立	徳島大学	とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム	四国大学、徳島文理大学、四国大学短期大学部、徳島工業短期大学、阿南工業高等専門学校	徳島県	徳島経済同友会、徳島県経営者協会、徳島商工会議所連合会、徳島県商工会連合会、徳島県中小企業団体中央会 他
国立	香川大学	うどん県で働くこうプロジェクト～能動学修による地域の魅力発見	香川県立保健医療大学、四国学院大学、香川高等専門学校	香川県	高松商工会議所、丸亀商工会議所、坂出商工会議所、観音寺商工会議所、多度津商工会議所 他
国立	愛媛大学	地域の未来創生に向けた“愛”ある愛媛の魅力発見プロジェクト	聖カタリナ大学、松山東雲女子大学、聖カタリナ大学短期大学部、今治明德短期大学、松山東雲短期大学	愛媛県	愛媛県商工会議所連合会、愛媛県商工会連合会、愛媛県中小企業団体中央会、愛媛経済同友会、愛媛県中小企業家同友会 他
国立	高知大学	まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム	高知県立大学、高知工科大学、高知工業高等専門学校	高知県	土佐経済同友会、高知県中小企業家同友会、高知県工業会、高知県経営者協会
公立	北九州市立大学	「北九州・下関まなびとびあ」を核とした地方創生モデルの構築	九州工業大学、下関市立大学、九州歯科大学、九州共立大学、九州国際大学、九州女子大学、産業医科大学、西南女学院大学、西日本工業大学、九州栄養福祉大学、梅光学院大学、北九州工業高等専門学校	福岡県、福岡県北九州市、下関市	北九州商工会議所、北九州活性化協議会、下関商工会議所
国立	佐賀大学	さが地方創生人材育成・活用プロジェクト	九州龍谷短期大学、佐賀女子短期大学	佐賀県、佐賀県佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、玄海町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町	佐賀県農業協同組合、戸上電機製作所、ジャパン・コスメティックセンター、佐賀電算センター、オブティム 他
国立	長崎大学	若者が輝く、若者で輝く長崎創生～地方創生人材学士プログラム	長崎県立大学、長崎国際大学、長崎純心大学、長崎短期大学	長崎県、長崎県長崎市、佐世保市	十八銀行、親和銀行、メモリード、協和機電工業、長崎船舶装備 他

設置形態	大学等名称	事業名称	参加大学	参加自治体	参加企業等
国立	熊本大学	“オール熊本”で取り組む熊本産業創生と雇用創出のための教育プログラム	熊本県立大学、九州看護福祉大学、熊本学園大学、尚綱大学、崇城大学、東海大学、尚綱大学短期大学部、熊本高等専門学校	熊本県	熊本県工業連合会、熊本経済同友会、熊本県商工会議所連合会、熊本県商工会連合会、熊本県中小企業団体中央会 他
国立	大分大学	地域と企業の心に響く若者育成プログラムと大分豊じょう化プラン	大分県立看護科学大学、日本文理大学、別府大学	大分県、大分県大分市、別府市、由布市	大分県商工会議所連合会、大分県商工会連合会、大分経済同友会、大分県経営者協会、大分県中小企業団体中央会 他
国立	宮崎大学	大学間連携による地域ニーズを捉えたみやざき産業人材の育成	宮崎県立看護大学、宮崎公立大学、九州保健福祉大学、都城工業高等専門学校	宮崎県	宮崎県商工会議所連合会、大分県商工会連合会、宮崎県中小企業団体中央会、宮崎県工業会、宮崎県経営者協会 他
国立	鹿児島大学	食と観光で世界を魅了する「かごしま」の地元定着促進プログラム	鹿屋体育大学、鹿児島国際大学、志志館大学、第一工業大学、鹿児島県立短期大学、鹿児島女子短期大学、鹿児島工業高等専門学校	鹿児島県	かごしま産業支援センター、鹿児島県工業技術センター、鹿児島県大隅加工技術研究センター、鹿児島県観光連盟、鹿児島県工業倶楽部 他
国立	琉球大学	新たな地域社会を創造する「未来叶い(ミライカナイ)」プロジェクト	名桜大学	沖縄県、沖縄県石垣市、宮古島市、久米島町、国頭村、大宜味村	ルーツ、オーシャン・トゥエンティワン、沖縄人材クラスター研究会、北部地域ITまちづくり協働機構、まちなか研究所わくわく 他

※文部科学省公表データより編集部作成

最後に、「地域」を学問領域とした学部の新設について見ておきたい。一言で「地域」と言っても様々なアプローチの仕方があろうが、図表17に示したのは、2014年以降設置された、「地域」を冠する学部を設置する大学の所在図である。実際はフィールドワーク等で地域を活用しているが、学部学科名からはその様子が読み取れないものも多くあることを踏まえつつも、受験生が検索しやすい「学部名」の中に「地域」が入る大学が、まだ数は多くないが、国公私合計で8大学存在する。いずれも地方に所在す

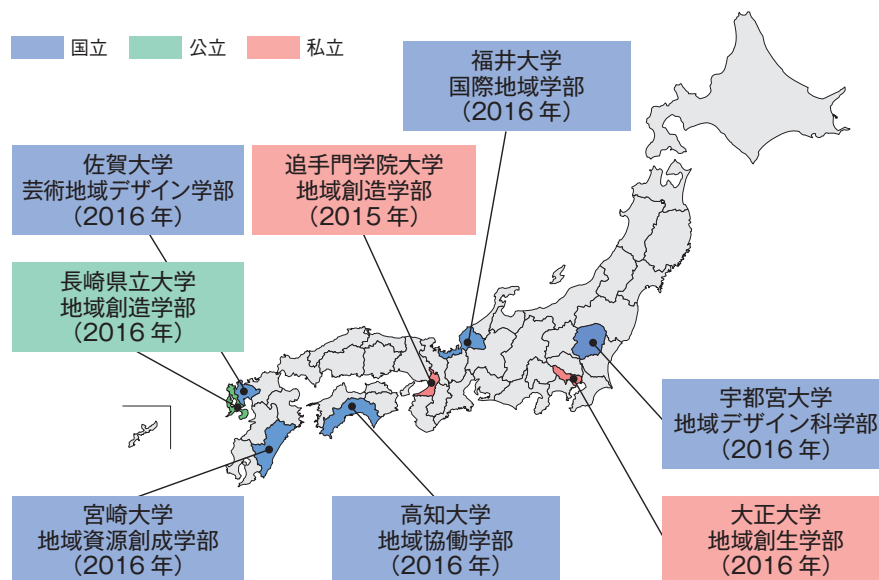
る大学かと思いきや、大阪の追手門学院大学、東京の大正大学でも地域を軸にした学部が設置されている。

従来のように、地方の大学で地元根差し地元をどう盛り上げるのかを中心に学ぶ学部も存在する一方で、これからは都市部に所在する大学にとっても「地域」は重要テーマであり、都市部にありながら実習やフィールドワークの場を地方に求め、「地域活性」をプロデュースできる人材育成を行おうとする学部が生まれてきている。

なお、国公立の設置が多い背景には、周知の通り、国立大

学法人の第3期中期目標期において、3つのテーマから重点テーマを選択する方針の存在がある。3つのテーマの1つに「主として、地域に貢献する取り組みとともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取り組みを中核とする国立大学を支援」とある。これらの政策を背景に、地域に根差すフラッグシップとなる学部学科を設置する動きが起こっていると言っていることができるだろう。

図表17 「地域」の名称が含まれている学部 (2014年～2016年設置)



※文部科学省公表データより編集部作成